

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生理学Ⅱ・呼吸器		向井 奉文		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期	火曜日	3限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	肺、気管、気管、呼吸、ガス交換、肺気量、呼吸運動、呼吸性アシドーシス、呼吸性アルカローシス				
到達目標	正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。 呼吸の仕組みについて理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1	第3章 呼吸と血液のはたらき 1. 呼吸器の構造 上気道、下気道、肺、胸膜、縦隔の構造
2	2. 呼吸とは？ 外呼吸・内呼吸とは？ 呼吸運動、呼吸のメカニズム、呼吸筋 呼吸気量（呼吸数、換気量、肺活量、1秒率とは？）
3	3. ガス交換とガス運搬 肺におけるガス交換、酸素運搬、二酸化炭素運搬、血液ガス 肺循環、換気血流比不均衡
4	4. 呼吸調節 呼吸の神経調節、呼吸中枢、化学受容器とは？ 肺の伸展受容器 呼吸運動の以上と病的呼吸
5	まとめ 終講試験
履修上の要件	特になし 呼吸器の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 運動器・筋とあわせて解剖生理学Ⅱの単位とする。
備考	